| | |
|---|---|
| 担当医/指導医 | / |
| 目的 | □ 積極的治療　□ 症状緩和<br>□ 術前補助　□ 術後補助 |
| 告知程度 | □全告知　□部分告知　□未告知 |
| 告知内容 | □ 癌（ 原発 ・ 再発 ・ 進行 ）<br>□ 抗癌剤を使用する |
| 服薬指導 | □ 依頼する<br>看護師（　　）　薬剤師（　　） |
| HBV感染スクリーニング | □ 確認済み |

| | |
|---|---|
| 身長：　　cm　体重：　　Kg | |
| 体表面積　　$m^2$ | |

# 乳癌　weeklyパクリタキセル療法

3週weekly投薬、1週休薬　※Day22は休薬

投与開始日　　年　　月　　日　　クール予定

● パクリタキセル　80mg/$m^2$　Day 1，8，15　計算量：　　mg　投与量：　　mg
（一般名：パクリタキセル、 商品名：パクリタキセル）

【投与スケジュール】

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| Day1，8，15 | 1） グラニセトロン点滴静注液 3mg 100mL | 1V | | 30分 |
| | デキサート 1．65mg | 5A | | |
| | ファモチジン静注20mg | 1A | | |
| | ポララミン 5mg | 1A | | |
| | 2） 生食 100mL | 1V | | 30分 |
| | プリンペラン 10mg | 2A | | |
| | 3） 5%ブドウ糖液 250mL | 1V | 1時間 | 滴下速度調節必要 |
| | パクリタキセル （ ）mg | | | |
| | 4） 生食 50mL | 1V | | ルートフラッシュ |

★ 専用の点滴セットを使用すること。（DEHPフリー、0．22ミクロン以下のフィルター付きの点滴セット）

★ パクリタキセルは、過敏症、ショックに注意！
（投与開始後から1時間、特に10分以内は患者の状態を十分に観察すること）

★ アルコール過敏症でないことを確認する。

★ デキサートとパクリタキセルは少なくとも30分は間隔を空けて投与する。

weeklyパクリタキセルの前投薬のデキサートは、初回導入時必ずデキサメタゾンとして8mg投与すること。

★ 次回投与時までに過敏症状の発現が見られなかった場合又は臨床上特に問題のない過敏症状の場合は、2週目の投与より半量（4mg）に減量可。
以降の投与週においても同様の場合、半量ずつ最低1mgまで減量して投与してもよい。